

日本中東学会ニューズレター  
JAMES  
NEWSLETTER  
No. 96  
3/10 2004

目 次

第 20 回年次大会のご案内 明治大学へようこそ！ .....	1
国際ワークショップのお知らせ .....	5
ワークショップ報告「日本と中東イスラーム研究の将来 板垣雄三氏を囲んで 」 .....	8
会員の異動 .....	9
寄贈図書 .....	10
会費納入のお願い .....	10
事務局より .....	10

第 20 回年次大会のご案内

明 治 大 学 へ よ う こ そ ！

来る5月8日(土)、9日(日)に明治大学駿河台キャンパス(東京都千代田区神田駿河台1-1)で開催される第20回年次大会プログラムの概略が下記のように決まりました。初日8日の講演会は昨年死去したエドワード・サイドが提起した「オリエンタリズム」をめぐる公開講演とアラブ民族音楽に関する催しなどを企画しております。9日の研究発表は45本ほどの多彩なテーマとなっておりますが、今後海外からの参加申し込みがあると思われるなど、変更する部分も多々あると思われるので、ご承知おきください。みなさま、奮ってご参加ください。

1. 会場 明治大学駿河台キャンパス
2. 交通 JRお茶の水駅(徒歩5分)ないし地下鉄神保町駅(徒歩5分)

### 3. 大会プログラム

5月8日(土) リバティ・ホール(タワー1階正面1013室)

12:30より 受付開始 (昼食は近くに食堂が多数あります)

13:30 挨拶(主催者および来賓)

13:40~16:00

公開講演「<オリエンタリズム>再考」(仮題)

講師 杉田英明氏(東京大学)

アラブ民族音楽レクチャー・コンサート

講師 松田嘉子氏(多摩美術大学)

16:15~17:15 日本中東学会総会

18:00より 懇親会(リバティ・タワー23階)

5月9日(日) 研究発表 午前・午後を通じて5つの分科会を予定

(発表時間30分、質疑10分)

午前の部 10:00~12:10

昼休み 12:10~13:00 (近所の食堂にて各自昼食)

午後の部 13:00~17:35 (休憩 15:10~15:25)

### 4. 研究発表

分科会および発表者、発表題目は下表のとおりです(いずれも仮題)。なお、今後、海外からの参加申し込み、機材の使用の都合などによって、会場や時間および順序の変更がありえますので、暫定的なものです。最終的なプログラムは4月上旬に送付される大会実行委員会からの通知でご確認ください。

#### 第1分科会

- 1) 吉村 武典(早稲田大学大学院)  
バフリー・マムルーク朝時代における水利行政の一側面
- 2) 田村 行生(中央大学大学院)  
ムスリムのソグド征服と“改宗”
- 3) 森山 央朗(東京大学大学院)  
地方史の作者と作品：10~12世紀中東における地方史人名録流行の概要
- 4) 平野 豊(明治大学、非常勤)  
タフマースプ1世による母后と王妃の追放
- 5) 飯田 巳貴(一橋大学)  
ヴェネツィア絹産業とオスマン市場
- 6) 高木 早苗(早稲田大学大学院)  
イルハン朝の確立に関する『集史』の記述の検討
- 7) 坂東 和美(慶應義塾大学大学院)  
チェルケス・マムルーク朝初期におけるスルタンの婚姻とその背景
- 8) 飯山 陽(東京大学大学院)

イスラーム法理論における必須概念としてのマスラハ: ジュワイニーの理論より

- 9) 小野 仁美 (東京大学大学院)  
マーリク派法学書における未成年者の成長段階

## 第2分科会

- 1) 小笠原 弘幸 (東京大学大学院)  
オスマン朝建国を巡る言説
- 2) 河原 弥生 (東京大学大学院)  
19世紀コーカンド・ハーン国におけるマルギランのトラたち
- 3) 近藤 信彰 (東京外国語大学)  
初期ガージャール朝とテヘラン
- 4) 大河原 知樹 (慶應義塾大学、非常勤)  
近代における移民運動とユダヤ教徒: イギリス・オスマン関係を中心として
- 5) 末近 浩太 (京都大学大学院)  
シリア・ムスリム同胞団の思想と活動
- 6) 秋葉 淳 (日本学術振興会)  
末期オスマン帝国における「オスマン化」政策とシャリーア法廷
- 7) 吉田 達矢 (明治大学大学院)  
ギリシア国家成立後の「ギリシア正教徒」と「ギリシア人」 19世紀前半のテッサリア地方
- 8) Ahmad Muftah Ruhuma NAILI (明治大学大学院)  
Japan-Arab Relations: A brief literature and interview based on survey of modern diplomatic history

## 第3分科会

- 1) Michel Penn (北九州市立大学)  
Yukio Okamoto and the New Japanese Foreign Policy
- 2) 小副川 琢 (英国国立セントアンドリュース大学大学院)  
レバノン議会選挙とシリアの関与: 1992, 1996, 2000年選挙の事例から
- 3) 嶋尾 孔仁子 (外務省)  
イランの政治機構: イスラーム革命後の正当性原理を中心に
- 4) 岩坂 将充 (上智大学大学院)  
トルコにおける政軍関係の再検討: 軍の政治介入 (1960・1971年)の要因分析から
- 5) 澤井 充生 (東京都立大学大学院)  
死をめぐる回族のイスラーム改革: 中国寧夏回族自治区銀川市の事例から

- 6) アーレス・ファクレジャハニー（東京工業大学大学院）  
イランのアゼルバイジャンはどこへ：今日のアゼリ民族主義をとりまく環境への一視点
- 7) 吉田 敦（明治大学大学院）  
EUの対地中海エネルギー政策：アルジェリアとのエネルギーブリッジ構築を例証として
- 8) 黒田 安昌（ハワイ大学）  
ネオ・コンの流れ：反ロシアから反アラブへ 反共から反イスラムへ
- 9) 吉村 慎太郎（広島大学）  
イラン石油利権問題とレザー・シャー独裁：1933年新利権協定の評価と影響に寄せて

#### 第4分科会

- 1) 細谷 幸子（東京大学大学院）  
テヘラン・キャプリーザ介護福祉施設における入浴介助ボランティアの活動
- 2) 加藤 博（一橋大学）, Ali El Shazly（カイロ大学）  
Neo-colonial buildings in modern Alexandria
- 3) Hiroshi Kato, Erina Iwasaki（一橋大学）, Ali El-Shalzy（カイロ大学）  
Migration to Greater Cairo from rural areas-Analysis of push factors
- 4) 辻上 奈美江（神戸大学大学院）  
サウディアラビアにおける最近の女性社会の動向
- 5) 兼川 千春（立教大学大学院）  
アフダームとは誰か：1990年以降のイエメンにおける言説分析を中心に
- 6) 小島 宏（国立社会保障・人口問題研究所）  
東南アジアにおけるイスラームと教育制度
- 7) 三尾 真琴（金城学院大学、非常勤）  
レバノンにおけるコプトコミュニティと学校教育
- 8) 水島 多喜男（徳島大学）  
グローバル化の中の湾岸産油国金融
- 9) 重親 知左子（大阪大学大学院）  
戦前日本におけるイスラーム受容に関する一考察

#### 第5分科会

- 1) 谷 正人（大阪大学大学院）  
イラン音楽にみる Charkh：演奏形式と楽曲構造から
- 2) 柏原 弘明（成蹊大学大学院）  
ライ・ミュージックの多様性

- 3) 岡本 久美子 (大阪外国語大学)  
『千一夜物語』の異界
- 4) 藤元 優子 (大阪外国語大学)  
ベストセラー小説『宿酔』の誕生
- 5) 宮岡 高尚 (上智大学大学院)  
イニョニュ時代のトルコ民族主義とアタテュルク民族主義
- 6) 菅瀬 晶子 (総合研究大学院大学大学院)  
イスラエル・ガリラヤ地方におけるメルキト派カトリック信徒の宗教的帰属意識：都市ハイファの事例、ローマ・カトリックとのかかわりから
- 7) 小堀 巖 (国連大学)  
砂漠研究の40年

## 5. 参加費用

大会参加費 1000 円

懇親会費 5000 円 (学生は 3000 円) を予定しています。

## 6. 大会実行委員会連絡先

日本中東学会第 20 回年次大会実行委員会事務局

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1

明治大学 福田邦夫研究室

電話：03 - 3296 - 2292

電子メール：kfukuda@kisc.meiji.ac.jp

## 国際ワークショップのお知らせ

来る 3 月 25-26 日に、日本中東学会主催の国際ワークショップ **Changing Knowledge and Authority in Islam** が、東京大学山上会館で行われます (国際交流基金の助成、財団法人東洋文庫の協賛による)。プログラムは以下の通りです。

中東からインドネシアや中国まで、知の伝達をめぐる諸問題が討議されます。参加費は無料ですが、参加申し込みをお願いします。学会員以外の方も参加できますので、知人、学生、院生などの声をかけていただければ幸いです。また、関連の研究教育機関には、ポスターをお送りいたしますが、ポスターの掲示にご協力いただける方は、国際交流三浦宛にご連絡ください。多数のご参加をお待ちしております。

参加をご希望の方は、3 月 17 日までに下記の宛先に、電子メール、ファックス、郵送で参加票をお送りください (必着)。予稿集の印刷、名札の準備がありますので、申込みは早めをお願いいたします。

参加票は日本中東学会ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/james/index.html> に掲載されています。

〒112-8610 文京区大塚 2-1-1

お茶の水女子大学文教育学部比較歴史学コース

三浦徹研究室内日本中東学会国際交流委員会

Tel & Fax: 03-5978-5184 E- mail: james@cc.ocha.ac.jp

( 国際交流担当 三浦 徹 )

\* \* \*

## **JAMES International Workshop Changing Knowledge and Authority in Islam**

March 25th, Thu. and 26th, Fri.  
at the Sanjo Conference Hall, The University of Tokyo

### **March 25th, Thursday**

**13:30-13:40 Opening Address:**

**SATO Tsugitaka** (Organizer, Waseda University, Tokyo)

**KOSUGI Yasushi** (President of JAMES, Kyoto University, Kyoto)

**13:45-17:00**

### **Session 1: Sufism and Tariqa Movements in the Era of Islamic Resurgence**

Chair: **AKAHORI Masayuki** (Sophia University)

**TONAGA Yasushi** (Kyoto University), “Sufism in the Past and Present”

**Mark SEDGWICK** (American University in Cairo, Cairo), "Tariqa and Reform and Tariqa Reform in the Arab World"

(Tea Break 15:00-15:20)

**Mahmut Erol KILIC** (Marmara University, Istanbul), “Effects of Sufism on Modern Turkish Society: Intellectuals and Politicians”

**KOMATSU Hisao** (The University of Tokyo, Central Asian History), “Islamic Resurgence and Tariqa in Central Asia”

**Discussion 16:30-17:30**

Discussants: **KISAICHI Masatoshi** (Sophia University, Tokyo)

**IIZUKA Masato** (Tokyo University of Foreign Studies, ILCAA, Tokyo)

**Welcome Party 18:00-20:00**

### **March 26th, Friday**

**9:30-13:00**

### **Session 2: Sites and Networks of Religious Authorities**

Chair: **MATSUNAGA Yasuyuki** (Nihon University, Tokyo)

**Jonathan BERKEY** (Davidson College, Davidson), “The Transmission of Knowledge and Religious Authority: Medieval Institutions and Modern

Problems”

**SATO Minoru** (Kanazawa University, Kanazawa), “Knowledge and Tradition of Chinese Muslim Intellectuals”

(Tea Break 10:40-11: 00)

**SATO Noriko** (Durham University, London), “Religious and Political Networks: al-Khoei Foundation and Other Political Minorities”

**Mohsen KADIVAR** (Tarbiyat Modarres University, Tehran), “The New Ideas and Influence of Molla Mohammad Kazem Khorasani”

**Discussion** 12:10-13:00

**14:10-17:30**

**Session 3: New Thinkers in Islam : Intellectual Map of Contemporary Muslim World**

Chair: KURITA Yoshiko (Chiba University, Tokyo)

**NAKATA Koh** (Doshisha University, Kyoto), “The Influence of Ibn Taymiyya's Thought in Contemporary Islam”

**Abou Elela Mady** (International Center for Studies, Cairo), “A Model of Islamic Political Thinking in Egypt”

(Tea Break 15:20-15:40)

**Mohamed A. Mahmoud** (Tufts University, Birmingham, UK), “Mahmud Muhammad Taha and the Crisis of Modern Islam”

**Ulil Abshar Abdalla** (Institute for Research and Human Resource Development of Nahdlatul Ulama , Jakarta), “The Liberal Interpretation of Islam: The Indonesian Case”

**Discussion** 15:50-16:30

**16:30-17:30**

**General Discussion**

Discussant: Dwight F. Reynolds (University of California, Santa Barbara)

Organizing Committee:

SATO Tsugitaka (Organizer, Waseda University)

KURITA Yoshiko (Chiba University)

MATSUNAGA Yasuyuki (Nihon University)

MIURA Toru (Ochanomizu University)

SAKAI Keiko (Institute of Developing Economies)

Dwight REYNOLDS (University of California, Santa Barbara)

TONAGA Yasushi (Kyoto University)

Sponsored by Japan Foundation

Cooperating with the Toyo Bunko

## ワークショップ報告 「日本と中東イスラーム研究の将来 板垣雄三氏を囲んで」

2004年1月26日午後、ワークショップ「日本と中東イスラーム研究の将来 板垣雄三氏を囲んで」が神田・如水会館において開催されました。月曜日の午後という時間帯にもかかわらず、中東研究者やジャーナリスト関係者を中心に延べ人数で70名近い参加者を得て盛会となりました。

もともと、前号のニューズレターでお知らせしましたように、このワークショップは日本中東学会元会長の板垣雄三氏が2003年11月4日、文化功労者として顕彰されたことを受けて企画されたものです。

日本中東学会として、本学会の元会長であり、また中東イスラーム研究の先達である板垣氏の文化功労者顕彰に対して心よりお慶びを申し上げるのは言うまでもないことです。しかし、日本を取り巻く現状を考えると板垣氏の顕彰を中東研究者として手放して喜ぶわけにはいきません。自衛隊が十分な議論もないままにイラクのサマーワに派遣されて、すでにイラクに駐屯しているからです。事実上の日本の「軍隊」が占領軍の一翼をになうかたちでアラブの地にいるという現実を考えると、これから日本と中東イスラーム諸国との関係がどのようになっていくかは予断を許しません。日本および日本の中東イスラーム研究を取り巻く状況は予想以上に厳しくなっていくと思います。むしろこのような深刻な状況だからこそ、板垣雄三氏を囲んで、日本の中東イスラーム研究の現状とその将来について、そして中東イスラーム研究者として日本と中東イスラーム諸国との関係の過去・現在・未来について語り合おうというのがワークショップの趣旨でした。

ワークショップ自体は中東イスラーム研究者が自由に語り合うというのが最大の眼目でしたので、板垣氏から一方的にお話を拝聴するという形式を取らずに、板垣氏の最新著『イスラーム誤認』（岩波書店）を議論のための素材にしつつ、まず各人に自由に語ってもらい、それからその発言を受けるかたちで板垣氏に話していただくという形式をとりました。したがって、話題も多岐にわたり、参加者がそれぞれの立場からさまざまな思いを込めて発言されたので、この限られた紙幅では個別にご紹介することはできません。しかし、このワークショップ自体の記録については、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科の協力を得て、その詳細を近刊の『地域研究スペクトラム』に掲載する予定です。そちらをご覧くださいいただければと思います。

なお、本ワークショップに関連して2004年2月9日付『朝日新聞』夕刊「世界の鼓動」欄で「イスラーム研究将来語り合う」という記事で紹介されました。また2月10日付『東京新聞』も「ニッポン外交大丈夫？ 専門家はかやの外、まずイラク派遣ありき」という見出しの特報コーナーで取り上げました。後者についてご関心のある方はウェブ上で見るができますので、次のサイトを



参照してください。

[http://www.tokyo-np.co.jp/00/tokuho/20040210/mng\\_\\_\\_\\_\\_tokuho\\_000.shtml](http://www.tokyo-np.co.jp/00/tokuho/20040210/mng_____tokuho_000.shtml)

また、このニューズレターでは板垣雄三氏が文化功労者に顕彰されました理由の詳細を会員の皆さまにはお伝えしておりませんでしたので、以下にご参考まで紹介しておきます。 (白杵 陽)

\* \* \*

#### 顕彰理由

東京大学名誉教授、東京経済大学名誉教授 板垣 雄三

多年にわたり、イスラム・中東地域研究の分野で教育・研究に努め、優れた業績をあげるとともに、関連学会創立に当たって中心的役割を果たし、人材養成、イスラム・中東地域研究の発展に貢献した。

氏は、東洋学の中のイスラム研究という伝統的アプローチを脱し、現実の中東地域における政治・経済・社会・文化を学際的に総合し、地域という視点からイスラム研究を再構築した。パレスチナ問題に早くから注目し、『アラブの解放』、『石の叫びに耳を澄ます 中東和平の探索』等の著作により、同地域の平和を希求した。氏の代表作『歴史の現在と地域学 現代中東への視角』においては、国家的拘束から解放された、たえず組み替えられる地域の視点「n地域論」を展開した。このほか『イスラム事典』、『講座イスラーム世界』等の監修・編集を通じて我が国のイスラム研究の裾野の拡大、啓蒙に大きく貢献した。

また、氏は我が国におけるイスラム研究のパイオニアとして、日本中東学会の創設と発展に尽力し、現地語を駆使する日本人研究者層を充実させ、研究水準の向上に大きく貢献した。

我が国のイスラム・中東地域研究は 1990 年代に国際的レベルに達したとみなされるが、これも氏の貢献があつたのことで評価され、様々な国際活動とともに我が国の学術・文化に果たした貢献は誠に顕著である。

学会への入会希望者がおられましたら、事務局までご連絡ください。入会案内と申込書をお送りいたします。また、学会ホームページに、学会概要と入会申し込み要項が掲載されていますので、こちらをご利用いただくと便利です。

## 寄贈図書

### 【単行本】

- 佐藤次高著『イスラームの国家と王権』岩波書店、2004.  
ジルベール・デュラン他著、篠田知和基編『神話・象徴・文学 III』楽浪書院、2003.  
ワイル・ハッラーク著（奥田敦編訳）『イジュティハードの門は閉じたのか』慶應義塾大学出版会、2003.

### 【逐次刊行物】

- 『生き物文化誌 BIOSTORY』vol.0、生き物文化誌学会、2003.  
『季刊アラブ』vol.107、日本アラブ協会、2003.  
『月刊みんぱく』国立民族学博物館編、財団法人千里文化財団、2004.  
『世界民族』2003 年第 1-6 期、中国社会科学院民族学與人類学研究所.  
『民族研究』2003 年第 1-6 期、中国社会科学院民族学與人類学研究所.  
Bulletin of the American Research Center in Egypt, No. 184 (Fall-Winter 2003-2004), Cairo: The American Research Center in Egypt.  
Newsletter, No. 60, Istanbul: O.I.C. Research Center for Islamic History, Art and Culture, 2003.  
『NII News』No. 17、国立情報学研究所、2003.  
『NII News』No. 19、国立情報学研究所、2003.  
『NII News』No. 20、国立情報学研究所、2004.

## 会費納入のお願い

本会は会費前納制をとっております。2004 年度分の会費を未納の方は、ぜひ今年度中、つまり 2004 年 3 月中の納入をお願いいたしたく、本ニューズレターに郵便振替払込用紙が同封されていますのでご利用ください。2003 年度以前の会費を未納の方もどうかお早めにお支払いください。払込確認後、当該年度の AJAMES をお送りいたします。

## 事務局より

地域研究企画交流センターが事務局を引き受けてから早くも最初の年度が終わろうとしております。ようやく事務局業務も軌道に乗りはじめた感がありま

す。前事務局長にはいまだにいろいろとご助力をいただいております、なかなかたいへんだと痛感しているこの頃です。来年度も何とか乗り切りたいと考えておりますので、会員の皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。  
(白杵 陽)

**日本中東学会ニュースレター 第96号**

発行日 2004年3月10日  
発行所 日本中東学会事務局  
印刷所 中西印刷

**日本中東学会事務局**

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1  
国立民族学博物館  
地域研究企画交流センター気付  
TEL & FAX 06-6878-8367  
Eメール：james@idc.minpaku.ac.jp  
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/james/index.html>  
郵便振替口座：00140-0-161096  
銀行口座：三井住友銀行渋谷支店  
普通 No. 5346808